

表9 スギ林の組成

高木層 (20 m)			
スギ	4	ブナ	3
亜高木層 (8 m)			
スギ	2	オオバクロモジ	1
リュウブ	1	ブナ	+
タムシバ	+	ハウチワカエデ	+
コバノトネリコ	+		
低木層 (2 m)			
スギ	2	ムラサキヤシホツツジ	1
オオバクロモジ	1	チシマザサ	+
リュウブ	+		
イワウチワ	4	シノブカグマ	2
ヤマソテツ	1	タムシバ	1
アクシバ	+	アカミノイヌツゲ	+

西会津町大久保台倉山, 標高 770 m, 斜面の向き N-45°-W,  
傾斜 30°。

湖岸の天神浜, 志田浜, 舟津浜, 青松浜, 崎川浜などにもみられる。しかし, 舟津浜以外では観光開発が進み, 自然景観はいちじるしく損なわれている。また, 裏磐梯の泥流堆積地の上にもこの種のアカマツ林が広く成林している。このアカマツ林については植栽という云い伝えもあるが, 林相を見る限りでは自然成立の部分も多いと思われる。

以上, 地形土壌の極相としてのアカマツ林の例を挙げたが, 勿論これだけではなく, 各地に多くの例を挙げることができよう。

### 3) キタゴヨウ林及びその他の尾根すじの森林

前記のアカマツ林がゆるい尾根すじに成立するのに対し, キタゴヨウ林は土壌のうすい急峻な尾根に成立する。キタゴヨウは, 同じ五葉松でもヒメコマツとは姉妹性を見せ, 日本海岸側の山地に偏った分布を示す。豪雪の越後山地は雪による布状浸食が激しく, 尾根はナイフの刃のように鋭くなっていることが多い。このような尾根にキタゴヨウが列生して細長い林分が形成されている。

キタゴヨウ林にはスギが混じり, 尾根がやや広くなった所ではスギの優占林分がみられることもある。こうした天然のスギ林は, よく見かける植栽スギ林と異なり, 令構成は多斉で下層木にもスギが多い。大沼郡金山町<sup>ほんな</sup>本名の奥にある三条及びその奥の本名御神楽岳, さらに耶麻郡西会